



大いちょう

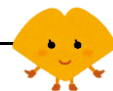


令和6年 10月11日
富士市立伝法小学校
校長 四條 秀樹

朝晩は秋らしさを感じるようになりましたが、まだまだ厳しい残暑の毎日となっております。夏休みが終わって、1か月。子どもたちは、学習や運動、そして友達との楽しい時間を笑顔で過ごしています。

さて、7月には、「教育に関わるアンケート(保護者回答)」にご協力いただき、ありがとうございました。皆様が感じている子どもや学校への思い、そして、子どもたちが大きく健やかに成長してほしいという願いが、集計結果に表れていました。この結果を生かし、今後の教育活動をさらに発展させていきたいと思ひます。ご家庭でも、今回の結果に目を通して、お子様と学校のことについて話す話題の1つとしてみてください。

令和6年度 教育に関わるアンケート結果(前期)



肯定・・・評価A(そう思う)＋評価B(どちらかと言えばそう思う) 分析 ○：満足(80%以上肯定) 否定・・・評価C(あまりそう思わない)＋評価D(そう思わない) ▼：課題(50%以上が否定)						
番号	評価内容(カッコ内は教職員)	対象	R5肯定割合	R6肯定割合	前年度比較	分析
1	子どもたちは、楽しく学校生活を送っている。	児童	97%	96%	↓	○
		保護者	99%	98%	↓	○
		教職員	100%	100%	→	○
2	子どもたちは、伝法小学校と吉原小学校、吉原第一中学校は、「あこがれ・チャレンジ・笑顔」という同じ学校教育目標になっていることを知っている。(目標を意識して生活している。)	児童	84%	85%	↑	○
		保護者	89%	94%	↑	○
		教職員	94%	97%	↑	○
3	子どもたちは、重点目標「みんな笑顔」を意識して学校生活を送っている。('みんな笑顔'に向けて教育活動に取り組んでいる。)	児童	90%	93%	↑	○
		保護者	81%	87%	↑	○
		教職員	94%	97%	↑	○
4	子どもたちは、自分が住んでいる地域が好きである。家庭で、地域のよさを話題にすることがある。	児童	99%	97%	↓	○
		保護者	46%	50%	↑	
		教職員	97%	100%	↑	○
5	地域の人が、学校のために活動をしていることで、学びや学校生活がよりよくなっている。(地域の人・もの・社会と関わりを深めている。)	児童	99%	97%	↓	○
		保護者	97%	97%	→	○
		教職員	97%	97%	→	○
6	子どもたちは、だれにでも進んであいさつができています。	児童	91%	89%	↓	○
		保護者	84%	85%	↑	○
		教職員	75%	84%	↑	○
7	子どもたちは、「ほかほか言葉」を使って話している。	児童	90%	90%	→	○
		保護者	81%	81%	→	○
		教職員	78%	87%	↑	○
8	子どもたちは、悩みや困ったことなどを相談できる人がある。(悩みや困ったこと相談している。)	児童	91%	87%	↓	○
		保護者	96%	95%	↓	○
		教職員	100%	97%	↓	○
9	子どもたちは、生活が楽しくなるように工夫して生活している。	児童	92%	92%	→	○
		保護者	91%	93%	↑	○
		教職員	91%	97%	↑	○
10	子どもたちは、相手のことを考えて行動している。	児童	調査なし	90%	比較なし	○
		保護者	調査なし	89%	比較なし	○
		教職員	調査なし	90%	比較なし	○
11	自分たちの学校がきれいになるよう、進んで掃除をしている。家庭で、自分が使った場所をきれいにしている。	児童	96%	95%	↓	○
		保護者	61%	60%	↓	
		教職員	72%	84%	↑	○
12	子どもたちは、自分にはよいところがあると思っている。(よさを認め励ますために意図的な関わりや場面を設定している。)	児童	90%	86%	↓	○
		保護者	91%	92%	↑	○
		教職員	100%	100%	→	○
13	授業が楽しい。(子どもたちは、楽しく行っている。)	児童	95%	93%	↓	○
		保護者	93%	93%	→	○
		教職員	94%	97%	↑	○
14	子どもたちは、授業(学習したこと)が分かっている。	児童	93%	92%	↓	○
		保護者	87%	87%	→	○
		教職員	88%	94%	↑	○
15	子どもたちは、自分の考えを友達にわかりやすく話したり、友達の考えを最後まで聞いたりしている。(自分の考えをわかりやすく話したり、話を最後まで聞いたりする力が付いてきている。)	児童	93%	94%	↑	○
		保護者	78%	77%	↓	
		教職員	69%	81%	↑	○
16	子どもたちは、チャレンジノートなど、自分から進んで学習に取り組んでいる。家庭で学習する「宿題を含む」習慣がある。(家庭で学習する習慣が身に付いている。)	児童	81%	85%	↑	○
		保護者	87%	85%	↓	○
		教職員	90%	90%	→	○
17	子どもたちは、分からないことや疑問に思ったことを、友達や先生に訊いている。	児童	89%	85%	↓	○
		保護者	72%	78%	↑	
		教職員	91%	94%	↑	○
18	子どもたちは、学校・家庭でタブレットやパソコンなどを使って学習している。(ICT機器を活用して授業を行っている。)	児童	83%	84%	↑	○
		保護者	調査なし	71%	比較なし	
		教職員	91%	87%	↓	○
19	子どもたちは、めあてをもって運動に取り組んでいる。	児童	88%	90%	↑	○
		保護者	91%	71%	↓	
		教職員	100%	87%	↓	○

肯定・・・評価A(そう思う)+評価B(どちらかと言えばそう思う) 否定・・・評価C(あまりそう思わない)+評価D(そう思わない)		分析○:満足(80%以上肯定) ▼:課題(50%以上が否定)				
20	子どもたちは、毎日「早寝・早起き・朝ご飯」ができています。家庭で「早寝・早起き・朝ご飯」を意識した生活を送っている。(規則正しい生活習慣を身に付けられるよう、取り組んでいる。)	児童	83%	82%	↓	○
		保護者	91%	86%	↓	○
		教職員	94%	80%	↓	○
21	子どもたちは、毎日の給食を好き嫌いしないで食べている。家庭で食事のとき、好き嫌いをせず食べている。(苦手な食べ物でも、少しは食べられるようになったり、食の大切さを感じたりしている。)	児童	83%	86%	↑	○
		保護者	70%	71%	↑	
		教職員	88%	87%	↓	○
22	子どもたちは、きまりを守ってけがをしないよう安全に生活している。	児童	94%	92%	↓	○
		保護者	93%	93%	→	○
		教職員	81%	97%	↑	○
23	子どもたちは、もしものときに、自分の命を守るために考えて行動することができる。	児童	97%	96%	↓	○
		保護者	84%	86%	↑	○
		教職員	96%	87%	↓	○

集計結果について(考察)

よいあらわれ

◎学校が楽しいについて 設問1・3・9

「学校が楽しい」については、三者ともに高い数値となっており、子どもたちが充実感を持って学校生活を送っていることが分かります。しかし、前年度の数値を僅かに下回っていることや子どもたちが安心して学校生活を送る基盤となる項目であることから、より100%に近づけていく必要があります。子どもたちが楽しく、生き生きと学校生活を送れるように、日々の授業や学校生活を支援していきます。また、重点目標「みんな笑顔」を意識して生活することや「生活が楽しくなるように工夫している」においても高い数値となっています。子どもたちの「みんなで楽しく生活したい」という思いを大切に、より実現できるようにしていきたいと思います。

◎学習関連について 設問13・14・15・16・18

学習面では、「自分ごととして考え、学びをつないでいく子の育成」を目指し、日々の授業を行っております。「授業が楽しい」「授業が分かっている」の項目では、高い数値となっており、主体的に学んでいることが分かります。また、授業の中で、子どもたちが主体的に考えたり、友達と協働的に学んだりできるように、ペアやグループで話す活動を多く取り入れています。授業の中で、みんなが発言できる機会を意識的に設けることで、「自分の考えを分かりやすく話したり、友達の考えを最後まで聞いたりしている」の項目の数値が高くなってきています。後期には、引き続き授業の中にペアやグループ活動を取り入れたり、多くの価値観に触れる場をつくったりと、さらに子どもたちが意欲的に学べるような工夫を行ってまいります。

改善したいあらわれ

○「早寝・早起き・朝ごはん」・食事について 設問20・21

「毎日、早寝・早起き・朝ごはんができています」の項目では、三者とも昨年度の数値から下がり、80%台となっています。規則正しい生活習慣は学校生活の基盤となるので、数値が減少していることが心配です。睡眠不足であったり朝ごはんを食べていなかったりすると、授業に集中できない原因となります。学校では、毎月のふれ愛デーやふれ愛ウィークを設けたり、日頃から規則正しい生活について声を掛けたりしております。ご家庭でも「早寝・早起き・朝ごはん」について、お子様と話し合い、声を掛けていただけるとありがたいです。子どもたちが、毎日元気いっぱい登校し、充実した学校生活を送れるよう、学校と家庭が協力して声を掛けていきましょう。

食事については、設問21の児童・保護者の数値が高くなっています。今年度、本校は富士市の食育推進校として食育を進めています。前期では、4年生のエコクッキングや5年生のだしの授業などが行われ、食についての関心を高めました。後期も、いろいろな推進事業を通して、食育を進めてまいります。

○めあてをもって運動に取り組んでいるについて 設問19

「めあてをもって運動にとりくんでいる」では、児童の数値は高くなっていますが、保護者・教職員の数値は昨年度に比べて大きく下回っています。前期は、スポーツカーニバルや体力テストがあり、運動に親しむことができたので、児童の割合が高くなったと感じます。しかし、今回の結果からは「めあてを持って取り組んでほしい」という保護者や教職員の願いも感じられました。自分に合っためあてを持ち、それに向かって運動することは大切なことです。日頃の授業の中でも、自分のめあてをさらに意識できるように取り組んでいきたいと思います。

心掛けていきたいこと

○あいさつ、ほかほか言葉、友達とのかかわりについて 設問6・7・10

今年度の児童会のスローガンは「あいさつの花火で笑顔あふれる学校」です。伝法小に気持ちのよいあいさつを広めていこうと、委員会の子どもたちが頑張って活動しています。児童の数値は昨年度より下がっていますが、保護者・教職員の数値は高くなっています。子どもたちは、あいさつが増えてきたことをまだ実感していなくても、保護者や教職員は少しずつ増えてきたことを感じているようです。児童会で活動している成果が後期の児童の数値に表れてくることを期待します。

ほかほか言葉については、児童の数値に比べ、保護者・教職員の数値が低くなっています。子どもたちは、日頃から友達に対して優しい言葉掛けが多く、ほかほか言葉をたくさんつかうことができています。しかし、児童自身が何気なくつかっている言葉でも、気付かずに相手の心を痛めていることもあるかもしれません。学校では、子どもたちがつかっている言葉について気が付くことがあれば、すぐに話をするようにしています。ご家庭でも、今一度言葉についてお子様と話をさせていただけるとありがたいです。

友達とのかかわりでは、「相手のことを考えて行動している」が三者とも高い割合となっています。学校生活では、友達が困っていると「どうしたの?」と声を掛けたり、そっと手伝ってあげたりする姿が、多く見られます。相手の気持ちを考えて行動できる伝法小の子どもたちは、大変立派です。そのような姿がさらに広がっていくように、引き続き声を掛けていきたいと思っています。

※学校評価アンケートの記述欄にも、貴重なご意見をいただきありがとうございました。
全職員で共有し、今後の教育活動につなげてまいります。